

現業評議会ニュース

「番外編」

宮城県本部塩釜市職労現業評議会の取り組み

現業・公企統一闘争で職場の委託阻止にむけ

現業評議会ニュース「番外編」は、本部の取り組みではなく、各地連や県本部、単組での取り組みを紹介しています。今回は、宮城県本部塩釜市職労での取り組みを紹介していきます。

東北地連宮城県本部塩釜市職労現業評議会の活動について紹介を兼ねて報告します。塩釜市職労現業評議会は宮城県中部沿岸沿いに位置する塩竈市の現業職場に勤務する43人で構成されています。塩釜市の現業職員は他自治体と相違なく学校用務、調理、清掃、一般現業に分かれて業務をしています。

一般現業職場であるポンプ場職員は下水道施設内にあるポンプ運転や施設内の除草、補修などの業務を行っています。毎日の点検や大雨機器故障への対応など住民生活に影響がないよう日々業務を行っています。



施設内の段差補修などはじめ、ポンプ操作などさまざまな業務を担っている（写真上・左）



ポンプ場敷地内の作業風景

現在、ポンプ場が委託されようとしています。まだ、確定事項ではないため、今後、当局との交渉において委託阻止にむけた交渉を行っています。現業・公企統一闘争、また確定闘争において施設の全体委託は業者任せとなり、住民の生命・財産を守る義務を自治体自ら放棄するものであると当局に強く訴えています。

現業・公企統一闘争、確定闘争は、自分たちの現在、将来を見据えたたたかいになることを総会、機関会議を通じて現業職全員が認識し、取り組みを進めています。

現業・公企統一闘争で回答を引き出す



委託阻止・人員確保・賃金改善を勝ち取ろう